

日本フンボルト協会 2021年度第3回常務理事会 議事録

日時：12月18日(土) 14時から16時

形態：オンライン会議

出席者：伊藤理事長、縣副理事長、浅田副理事長、西川副理事長(関西支部長)、居城先生(北海道支部長)、伏木先生、広渡先生、井田先生(関東甲信越支部長)、岡林先生、坂越先生(中四国支部長)、高橋宗五先生、高橋義人先生、高山先生、武内先生(九州支部長)、種村先生、鏑田先生、山本先生、和田先生(中部支部長)、関映子(事務局) 21名

欠席者：櫻田先生、高橋輝暁先生、西土先生、須田先生(東北支部長)

《議題》

(1) オンライン・ドイツ研究留学説明会(2022年1月8日開催)について

- 1) 案内文およびポスター … 資料1
- 2) 分科会担当者について … 資料2
- 3) 申し込み状況

九州大学 4	長崎大学 8	久留米大学 1	広島大学 1
岡山県立大学 1	大阪大学 7	京都大学 6	滋賀県立大学 1
神戸学院大学 1	立命館大学 1	千葉大学 1	東京医科歯科大学 10
東京外語大学 2	東京工業大学 1	東京大学 8	東京農工大学 1
早稲田大学 4	学習院大学 1	慶應義塾大学 1	東京薬科大学 1
東北大学 15	山形大学 3	北海道大学 5	(合計 84)

分科会別登録者(重複登録あり)：

人文科学 14 社会科学 13 理工学 37 生命科学 27 医学 27

鏑田常務理事(留学説明会担当)から、資料に基づき

- ・オンラインによる開催により、ドイツ滞在者も含めて、多くの参加者が可能になった。
- ・5つの分科会では、若手の会員に積極的に経験談を語っていただく。
- ・各大学の申し込み者数には、大きな開きがあり、引き続き、各支部から情報発信をお願いしたい旨の発言があった。

(2) オンラインシンポジウムの報告(西川先生・事務局)

1) コロナと人権(2021年11月28日) … 資料3

申込数39名、参加者29名、欠席10名

- ・世話役の西川副理事長から、資料に基づき報告があった。
- ・事務局から、本シンポジウムの報告部分のみYouTubeに掲載した旨、12月16日に会員にメールで連絡したとの報告があった。

2) 日独公法学セミナー『新型コロナ対策の日独喫比較』(2021年10月23日) … 資料4

主催：原田大樹会員、後援：日本フンボルト協会

参加者：60名(うち30名がフンボルト会員)

- ・事務局から、本セミナーの主催は、京都大学大学院法学研究科附属法政策共同研究センター(環境と法ユニット)であり、原田会員はAlumni Awardを受賞している旨の補足説明があった。

3) 今後の予定

A) 「日本の感染症対策は正しかったのか ー医学と医学行政の観点からー」 … 資料5

(2022年1月29日(土)開催予定)

- ・世話役の西川副理事長から、本シンポジウムについて資料5に基づき説明があり、報告者に再度確認を取り、概ね1か月前に開催の告知する旨の説明があった。
- ・種村常務理事(HP委員長)から、このシンポジウムに限らず、今後は、各シンポジウム終了後に、各報告者から発表要旨の提出を求め、本協会HPに掲載したいとの提案があり、常務理事会として了承された。

B) シンポジウムの提案(縣先生) … 資料6

- ・縣副理事長(シンポジウム担当)から、前回常務理事会で検討することになっていた企画「Covid-19後のGlobalismusとNationalismusの関係」については、準備になお時間を要するため、見送りたいとの説明があり、その代替企画として、「文化の危機 ー大戦・東西・現在」(仮題)の提案があり、審議の結果、承認された。
- ・併せて、4月16日(土)を開催予定日として準備を進めること、また、世話役は縣先生、司会は三木先生、また、岡林先生がサポート役となることが了承された。

4) 検討事項

- ・Zoom討論会およびYou Tube掲載について、今後とも会員限定を継続するかについて意見交換を行い、今後は、会員限定ではなくオープンな形での参加やYou Tube掲載を進めるという方向性が確認された。
- ・但し、You Tubeに掲載し、自由視聴を認める場合、掲載期間を限定し、その後削除するなどの方策や、授業利用目的に準ずる立場から掲載する方法などの意見が出されたが、一方で、著作権については、慎重に検討する必要があるとの意見もあり、この件については、伊藤理事長から、まずは、理事長・副理事長で引き取り、論点整理などを行い、改めて常務理事会に原案を提示する旨の提案があり了承された。
- ・常務理事会終了後、理事長、副理事長と遅れて参加した居城常務理事(北海道支部長)で協議し、You Tubeに掲載する場合、使用するスライドなどについては、著作権に抵触する箇所などにマスキングをしたうえで掲載する方策なども含めて、引き続き検討することになった。

(3) 来年度の総会について

- ・来年度総会の開催方法について検討した結果、コロナ禍の現状を踏まえ、また、先行きが依然として見通せない現状では、オンライン形式での開催を前提として準備することが現実的という結論になった。
- ・開催日時は、2022年6月11日(土)を予定。開催プログラムについては、現状では、
 - 13時15分から14時：常務理事会・理事会
 - 14時から14時50分：総会
 - 15時～16時：講演会講演者：Goetze 新駐日大使(予定)
なお、この件については、縣副理事長から大使館に講演依頼することになった。

(4) フンボルトコロキウム (2022年11月開催予定) について

1) フンボルト財団からの連絡 (12月8日) … 資料7

- ・伊藤理事長から、フンボルト財団、Frau Schildt から、新型コロナウイルス感染状況およびオミクロン株などの急激な感染拡大状況を踏まえ、日本での対面式での開催を、フンボルト財団としては断念する旨の連絡があり、本協会からは、対面式での開催が中止となったことは非常に残念ではあるが、現状では、フンボルト財団の決定を尊重せざるを得ない。日本フンボルト協会としては、本コロキウムを成功させるために、引き続き支援していく旨の返事をしたとの報告があった。
- ・その後、Frau Schildt から2022年1月13日(金)の夕刻(日本時間)、フンボルト財団から、本コロキウムについてのオンラインでの打ち合わせを行いたい旨の提案があり、本協会からは伊藤理事長、高山常務理事(フンボルト財団 Vertrauenswissenschaftlerin)、関さん(事務局)で対応することとなった。
- ・上記打ち合わせの際に、本協会として、文系・理系含め多くの会員が参加できるような企画にすること、若手参加者については、人選については、本協会からも提案をしたい旨の希望を伝えることになった。

(5) 日独共同研究奨学金について

1) 2020年度奨学金使用報告書2件

金 尚均会員(龍谷大学) … 資料8

原田大樹会員(京都大学) … 資料9

- ・上記報告書について、伊藤理事長から、現在の社会状況により、何れのプロジェクトもドイツ人研究者の来日は困難であり、オンラインでも共同研究を遂行せざるを得ない。また、研究の遂行が必ずしも順調に行われなかった場合には、一定の成果を上げた段階で、改めて報告書を提出してもらおうことを考えている旨の説明があった。

(6) 日独共同研究奨学金基金と財政安定化基金の会計について(縣先生、事務局)

1) 奨学金基金と安定化基金の現在高の確認 … 資料10

- ・縣副理事長(基金担当)から資料に基づき、同基金の現状報告があり、原案どおり承認された。

(7) 会計について(高橋宗五先生、事務局)

1) 2021年度会計収支の経過 … 資料11

- ・高橋宗五常務理事(会計担当)から、資料に基づき説明があり、原案通り承認された。また、来年度の予算計上について、支出項目など若干修正する必要がある旨の説明があった。
- ・Zoom 討論会などでの本協会会員以外の講演者に対する謝礼(2万円)を、支出項目として別建てで計上してはという提案があり、その方向で検討することになった。

2) 年会費納入状況について:

- ・事務局から、年会費納入状況について、1434名(会員)中601名(支払い率42%)であり、支払い率が、若干上昇した旨の報告があった。

3) 寄附口座の入金報告:

- ・事務局から、寄附口座残高について、2021年度は、現在、30,000円(5人)の寄附があり寄附口座に組み入れた。寄附口座の現在高は770,800円との報告があり承認された。

(8) 各支部からの報告

北海道支部：事務局から、居城支部長の代理で来年の3月に講演会と総会をオンラインで開催することの報告があった。

東北支部：事務局から、須田支部長 11月6日（土）に3年ぶりに東北支部総会を下記の要領で開催した報告があった。

第一部：支部総会の出席者は10名

第二部：第2部 記念講演「ここまでわかったパーキンソン病—診療・研究の最前線」
長谷川 隆文理事（東北大学大学院医学系研究科 副科長・准教授）の講演会を開催、参加者は30名。

関東甲信越支部：井田支部長から、支部HPの作成状況について報告と、2022年3月に支部総会を開催する予定であるとの報告があった。

中部支部：和田支部長から、2022年の早い時期に支部総会を開催する予定である旨の報告があった。

関西支部：西川支部長から、支部役員の若返りを引き続き図っていく。また、岡林先生からの提案を踏まえて、大学のネットワークを通じて連絡会を作る。支部総会については、2022年3月6日（日）に同志社大学6A会議室での開催を予定しており、京都府立医科大学の井上匡美先生の「肺がんの診療について」の講演会を併せて行う旨の報告があった。

中四国支部：坂越支部長から、支部通信を発行し、エッセイを支部からのメッセージとして、支部会員に届けた旨の報告があった。

九州支部：武内支部長から、2022年1月28日に総会と講演会（遠藤歩会員「家族法と別姓の問題」）の開催を予定している。なお、講演会の部分については、九州支部以外のフンボルト協会会員に案内を出すことについては、これまで、九州支部は、フンボルト会員がDAAD友の会会員と合同で運営している事情があるので、この件については、まずは、DAAD友の会の了解を取ることになった。

(9) その他

1) 2022年度シーボルト賞募集の告知について … 資料12

・事務局から、資料に基づき、シーボルト賞募集について、一層の周知依頼（応募締め切りは、2022年1月17日）があった。

2) 協会ホームページについて

・種村常務理事（HP委員長）から、協会HPについて、例えば、「地球の歩き方」のような情報誌のフンボルト版的なコンテンツを加えてはどうかとの提案があり、了承された。具体的な内容については、HP委員会で引き続き検討することとなった。

3) 次回常務理事会の日程について

・調整の結果、2022年3月26日（土）14時からとなった。